

# 校区まちづくり協議会 地域別計画意見交換会

## 開催レポート

### 目次

1. 開催概要.....	1
2. 開催日程.....	1
3. 実施内容.....	2
4. 意見交換会のご発言（抜粋）.....	3
5. 最後に.....	17

## 1. 開催概要

第5次総合計画基本計画「地域別計画」については、各小学校区を「地域」の基本単位とし、各地域の現状と方向性を明らかにするとともに、目標別計画を各地域別に編集し、取りまとめたものです。

平成30年度に開催した「八尾市総合計画審議会」において、第5次総合計画における「地域別計画」の総括と、第6次総合計画における「地域のまちづくり」をどのようにするべきかの審議が行われましたが、その参考とするため、各校区まちづくり協議会との意見交換会を下記日程のとおり開催しました。

## 2. 開催日程

(全日程平成30年)

	校区まちづくり協議会名	日程	開催場所	時間
1	用和小学校区まちづくり協議会	11月22日(木)	用和小学校区集会所	午後7:30～午後8:30
2	長池小学校区まちづくり協議会	11月7日(水)	緑ヶ丘コミュニティセンター	午後8:15～午後9:00
3	久宝寺小学校区まちづくり協議会	11月1日(木)	久宝寺コミュニティセンター	午後7:30～午後9:00
4	美園小学校区まちづくり協議会	12月6日(木)	久宝園集会所	午後7:30～午後9:00
5	龍華小学校区まちづくり協議会	11月19日(月)	龍華コミュニティセンター	午後7:30～午後8:30
6	永畑小学校区まちづくり協議会	11月6日(火)	龍華コミュニティセンター	午後7:30～午後8:30
7	大正小学校区まちづくり協議会	12月4日(火)	大正コミュニティセンター	午後7:30～午後8:30
8	大正北小学校区まちづくり協議会	12月6日(木)	大正コミュニティセンター	午後7:00～午後8:00
9	八尾小学校区まちづくり協議会	11月21日(水)	八尾小学校区集会所	午後7:30～午後8:30
10	安中小学校区まちづくり協議会	12月4日(火)	安中小学校区集会所	午後7:00～午後8:10
11	南高安小学校区まちづくり協議会	12月5日(水)	南高安コミュニティセンター	午後8:05～午後9:05
12	高安中学校区まちづくり協議会	11月7日(水)	高安コミュニティセンター	午後8:00～午後9:30
13	南山本小学校区まちづくり協議会	11月3日(土)	南山本小学校区集会所	午後5:30～午後6:30
14	高安西小学校区まちづくり協議会	11月14日(水)	高安西小学校区集会所	午後7:15～午後8:40
15	志紀小学校区まちづくり協議会	11月17日(土)	志紀コミュニティセンター	午後1:30～午後2:45
16	西郡まちづくり協議会	11月19日(月)	桂人権コミュニティセンター	午後7:00～午後8:35
17	北山本小学校区まちづくり協議会	11月14日(水)	福万寺公民館	午後1:30～午後2:40
18	山本小学校区まちづくり協議会	12月6日(木)	山本集会所	午後7:30～午後8:45
19	上之島小学校区まちづくり協議会	10月30日(火)	上之島小学校区集会所	午後7:30～午後8:45
20	高美小学校区まちづくり協議会	12月16日(日)	高美小学校集会所	午後1:30～午後2:45
21	高美南小学校区まちづくり協議会	11月20日(火)	安中人権コミュニティセンター	午前10:00～午前11:00
22	曙川小学校区まちづくり協議会	11月16日(金)	曙川コミュニティセンター	午後7:00～午後8:30
23	刑部小学校区まちづくり協議会	11月27日(火)	刑部小学校区集会所	午後7:00～午後8:20
24	曙川東小学校区まちづくり協議会	11月20日(火)	曙川東小学校区集会所	午後7:30～午後9:00
25	東山本小学校区まちづくり協議会	11月14日(水)	山本コミュニティセンター	午後7:00～午後8:45
26	西山本小学校区まちづくり協議会	12月2日(日)	山本コミュニティセンター	午後7:00～午後8:10
27	竹淵小学校区まちづくり協議会	11月28日(水)	竹淵コミュニティセンター	午後7:00～午後8:20
28	亀井小学校区まちづくり協議会	10月22日(月)	亀井小学校区集会所	午後7:00～午後7:40

### 3. 実施内容

意見交換会には各校区まちづくり協議会の役員の方々を中心に、合計で約 360 名の方にご参加いただきました。第5次総合計画における地域別計画のまちづくりの方向性や校区まちづくり協議会で取り組まれたこととその成果、わがまち推進計画に基づく校区まちづくり協議会の今までの取り組みを振り返るとともに、今後の展望を含め様々なご意見をいただきました。



#### 4. 意見交換会のご発言(抜粋)

##### 1. 用和小学校区まちづくり協議会

###### 【これまでの活動を振り返って】

- ・防災訓練はマンネリ化してきているが、地域の事業者との連携、炊き出しを行うなど工夫することで、防災意識が向上してきた。特に炊き出しは、参加者が「自分でもできるかも」といった声のでていた。
- ・防犯カメラは、子どもの安全を考慮し、優先順位をつけて設置してきた。
- ・防犯活動については、事案などが発生した際には警察の協力を得ながら、ポスターの掲出など積極的に取り組んできた。防犯に関する情報は、校区まちづくり協議会や自治振興委員会を通じ、発信している。
- ・憩いの場づくりとして実施しているふれあいサロンや、世代間の交流促進を目的として実施しているグランドゴルフなどは、多くの住民が参加する取り組みとなっている。
- ・校区まちづくり協議会の情報発信として、用和レポートやホームページ、SNSなどにより、協議会の認知向上を進めている。

###### 【これからの活動について】

- ・様々な活動の広報を自治振興委員会の会合などで発信することでより多くの方に知ってもらうことができるので、取り組んでいきたい。
- ・校区まちづくり協議会の認知度を向上していくため、ホームページの更新などをスムーズにしてきたい。

##### 2. 長池小学校区まちづくり協議会

###### 【これまでの活動を振り返って】

- ・地域の子どもの声があがり復活した、子どもの交流を目的とした子どもふれあいまつりは、青少年育成連絡協議会、小学校 PTA、地区福祉委員会など、地域全体の活動となっている。
- ・フェスタ長池は、取り組み内容を充実するなど工夫しながら実施しており、地域に定着した世代間交流の取り組みとなっている。
- ・青少年育成連絡協議会と民生委員児童委員と給食ボランティアなどが連携して実施しているふれあい喫茶の参加者は、女性だけではなく、男性も増加してきた。
- ・独居高齢者を対象として実施している給食会は、インフルエンザ予防の講演を組み込むなどの工夫を行い、喜ばれる取り組みとなっている。

###### 【これからの活動について】

- ・防犯カメラは、耐用年数を迎えることから、更新していく。
- ・長池フェスタや子どもふれあいまつりなど、地域全体の行事を充実していきたい。

### 3. 久宝寺小学校区まちづくり協議会

#### 【これまでの活動を振り返って】

- ・世代間交流事業、声掛け見守り活動、子育て支援、健康づくり、歴史や景観、美化など、様々な取り組みを学校や地域の各団体などの協力を得ながら行っている。
- ・放課後こども教室は、昔の遊びやクラフト、硬筆、将棋、英会話、お作法などを毎年9種目行っており、高齢者が子どもたちに指導することで、良い交流の場となっている。
- ・市民スポーツ祭やふれあい祭りなど、みんなが知恵を出し合い、様々な催しをすることで、三世代交流の場となっている。
- ・防犯カメラは、子どもや住民の見守りとして設置しているが、自動車などを運転する方への注意喚起にもなっていると考えている。
- ・路上喫煙マナー活動について、平成25年から取り組みをはじめ、地域のイベントでの啓発活動、また清掃活動ではタバコだけでなく空き缶もあわせて拾っており、まち全体の環境美化に繋がっている。

#### 【これからの活動について】

- ・世代間交流を目的に実施している好きやねん久宝寺まつりは、子どもから高齢者までが参加しており、今後も継続していきたい。
- ・高齢者を対象としたイベントを開催しているが、男性の参加が少ないため、増加するような工夫を考えていきたい。
- ・地域で課題となっている地域猫への取り組みを進めていきたい。
- ・地域全体への地元広報誌の発行の他に、ホームページによる地域に向けた情報発信を行っており、他の地域からの反応があることから、広報活動を大事にしていきたい。

### 4. 美園小学校区まちづくり協議会

#### 【これまでの活動を振り返って】

- ・防犯カメラを設置してからは不審者に関する情報がほとんど入ってこなくなった。また青少年育成指導員や当該地域の警察のOBが自ら講師となって、小学生を対象に楽しく自転車講習会を開催し、安全・安心なまちづくりに取り組んだ。
- ・市民スポーツ祭などの行事の実施にあたり、様々な意見を聞き、高齢者も参加できるような競技を取り入れることにより、参加者も多くなっており、また各町会の結束力も強くなっていると感じる。
- ・宿題をする場として「夏休み子ども教室」を開き、宿題だけではなく遊びを取り入れるなど工夫しながら実施している。保護者から継続してほしいとの声があがる取り組みとなっている。
- ・豚汁の炊出しなど防災訓練を兼ね他の行事に併せて行うなどの工夫をしている。
- ・毎日の登下校の見守り活動を通じ、当初より挨拶をしてくれる子どもたちが増え、子どもたちと顔見知りになってきた。

#### 【これからの活動について】

- ・子どもたちに健やかに育ってもらいたいと考えており、「夏休み子ども教室」を継続していきたい。
- ・スポーツ祭などの様々な行事での思い出は、普段と違った喜びや良かった記憶として残るものであり、今後もずっと継続していきたい。

## 5. 龍華小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・防犯カメラの設置にあたり、自治振興委員会と連携するなどの工夫により、地域の防犯意識の向上に結び付いている。
- ・地区福祉委員会と校区まちづくり協議会と共催でふれあい祭りを開催し、地域で屋台を出すなど地域の絆と協働が広がっている。
- ・65歳以上の高齢者を対象に仲間作りや親睦を図るため、講演会と食事会、カラオケなどを組み込んだ生き生きサロンを開催し、参加者は年々増加している。
- ・学校からの要請もあり、小学校3年生を対象に見守り活動と勉強を教えるわくわく教室を開催している。植田家住宅に協力頂き、地域の歴史を学ぶ活動なども行っている。
- ・清掃活動については、有志で清掃活動を継続してきたところに、校区まちづくり協議会が協力（清掃用具の提供）することにより、大幅に環境が改善していると感じている。

### 【これからの活動について】

- ・安全なまち、住み良いまち、きれいなまちを実現するために、これまでの取り組みを充実し、継続していきたい。
- ・様々な取り組みを行っているが、2つの校区にまたがる取り組みが課題である。

## 6. 永畑小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・校区内に交通量の多い国道が通っていることから、見守り活動などの交通安全の活動や青色防犯パトロール、防犯カメラの設置などの防犯活動に力を入れてきた。
- ・環境美化について、犬、猫のフンへの対策として、啓発看板の設置など注意喚起を行っており、成果が上がっていると感じている。
- ・地域の歴史を活用して、植田家住宅の管理事業者と連携し、世代間交流フェスタを行っている。また、ダンスグループによる演技や小中学生の楽器演奏などを加えるなどにより、世代間交流を進めることができている。
- ・まち歩きを実施しており、植松町を散策するなど地域の歴史や魅力がわかってもらえたと感じている。

### 【これからの活動について】

- ・子どもの見守り活動などの交通安全については、現場で発生するトラブルへの対応を検討していく必要がある。
- ・高齢化に伴い、様々な活動を担う人材の確保が課題となっている。
- ・災害などにおける独居高齢者の対応に危機意識を持って、自主防災組織を活性化するなど、地域で支えていきたい。
- ・テーマ型事業を実施し、事業賛同者を人材として協力してもらえようような体制づくりなど事業の進め方について検討していきたい。



## 7. 大正小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・青色防犯パトロールに取り組んでいることで、治安は良いほうとを感じるが、活動のマンネリ化と高齢化などにより、担い手不足が課題となっている。
- ・子どもたちの未来を育むまちの取り組みにおいて、様々な工夫を行うことにより、参加者が多くなっている。
- ・ふれあい給食を通じ、関わったことのない人同士がコミュニケーションを取れる関係になっており、とても有意義な活動と感じる。

### 【これからの活動について】

- ・地域にある大和川の河原の清掃や整備を行政と連携して進めていければ、地域資源である大和川に親しみを持ってもらえるようになるのではないかと考えている。
- ・どのような取り組みでも、担う側も参加者も楽しめるよう取り組んでいきたい。
- ・八尾市から「こんなことをしてみてもどうか」と提案があれば地域も活動しやすくなると感じる。
- ・ふれあい給食は大正コミセンで行っているが、身体が不自由などの理由で会場まで来ることができない人もいる。年に2、3回だけでも参加してもらえる方法を考えていきたい。
- ・こども会活動の取り組みについて、上手なくみづくりを行っている地域の情報を得て、取り入れていきたい。

## 8. 大正北小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・ここ数年で、河内音頭まつりへの参加、子どもカーニバルの開催、防災訓練の実施、青色防犯パトロールと活動が充実してきた。
- ・青色防犯パトロールは、大正小学校区まちづくり協議会とパトロール車を共用してきたが、より充実していくため、1台確保し、特殊詐欺防止に対する呼びかけも併せて行うなど工夫して取り組んでいる。
- ・校区まちづくり協議会自体のPRや取り組み内容のPRを進めるため、くすのきという広報誌を年2回発行している。
- ・防犯カメラは、警察と相談しながら20台程度設置してきた。
- ・キッズわくわくコンサートや校区まちづくり協議会健康講座親子クッキングなど、大正小学校区まちづくり協議会と共同して事業を実施した。

### 【これからの活動について】

- ・今後も様々な取り組みを大正小学校区まちづくり協議会と共同して実施していく。
- ・防犯カメラについては、まだ他にも設置したいところがあるので、引き続き取り組んでいきたい。

## 9. 八尾小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・防犯カメラの設置が多いのは、地域の情勢によるところが影響しているが、犯罪の抑止力は確実にあると感じている。
- ・世代間交流、ふれあい食事サービス、いきいきサロンなどは地区福祉委員会で月1回、行っている。
- ・こども会活動を校区まちづくり協議会主催とすることによって、活動保険への加入など事業運営を行いやすくなった。

### 【これからの活動について】

- ・校区まちづくり協議会が地域の個々の団体の活動をサポートするという役割をめざしていきたい。
- ・校区まちづくり協議会を通じて、様々な団体同士で共催していくことができればよい。

## 10. 安中小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・こども会加入促進の目的でこども会1日体験を実施した。こども会の加入率低下は、活動自体に魅力がないのかもしれないし、保護者が役員を務めたくないという理由もあるのではないかと思う。
- ・毎日の清掃活動、花の植替えや自転車によるパトロールなど実施してきたが、高齢化に伴い、担い手不足を感じている。
- ・子どもから高齢者までを対象として交通安全教室を実施している。子どもの興味を引くよう、工夫して取り組んでいる。
- ・みそづくりやふれあい喫茶などは、参加者が100名程度となる人気のある取り組みになってきた。

### 【これからの活動について】

- ・防犯カメラについて、地域で求められている場所に設置していきたい。
- ・高齢クラブに入る前の年齢層が多く、また時間的にも余裕がある人も多いので、そういった人材が活動に協力できるよう事業の実施手法を検討していきたい。



## 11. 南高安小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・子どもの交流と親の交流といった子どもに関する取り組みに力を入れてきた。市民スポーツ祭も子どもに関する取り組みとして実施している。地域での大きな行事には幼小中 PTA、学校の先生に協力してもらい実施している。
- ・青色防犯パトロールは、小学生の下校時に実施している。その他、夏期冬期は夜間パトロールを実施している。
- ・住民健診については、医療機関、健康教室の役員や町会長が中心となり、それぞれが役割を担いながらボランティアで支えることにより継続してきた。
- ・住民健診の PR については、青色防犯パトロールと併せて取り組んでいる。
- ・世代間交流を目的としたふれあい果樹園の農作業体験は、人気のある取り組みであるが、日々の管理も含めて農作業指導担当者の負担が大きい取り組みとなっている。

### 【これからの活動について】

- ・南高安地区は自然に恵まれており、子どもを中心とした活動を行っているが、高齢化社会を迎え、空き家がポツポツ出始めている。こういう社会環境の中で高齢者に対する取り組みをどのように進めていけばよいか考えていく必要がある。
- ・この地域は広く、坂道が多いので、高齢者にとっては大変な地域であることから、今後高齢者にやさしいまちづくりを考えていかなければならない。
- ・子ども対象のイベントは幼小中 PTA の手助けがなければ実施できないが、幼稚園がなくなり、PTA も居なくなるため、今後のボランティアの確保が課題となっている。

## 12. 高安中学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・台風がよく来るので、地区で防災リーダーを決め、課題もあるが、メールで呼びかけをするなどの取り組みを行っている。
- ・地場産業の活性化がまちづくりに必要と考え、住民同志の交流の機会を増やすためマルシェを始めた。
- ・子どもの安全確保や犯罪などの未然防止のために登下校時の見守り活動と新たに地区全体でのあいさつ運動や学校行事に合わせ見守り活動を実施した。

### 【これからの活動について】

- ・地場産業の活性化や空き家、空き地の課題解決もまちづくりに必要と考え、まちづくり活性化部会を立ち上げており、継続して取り組んでいきたい。
- ・町会主体で活動すると単年度で区長が変わるので、活動がとぎれとぎれになることから、校区まちづくり協議会の部会などに町会が入っていく形となれば、活動が途切れず続いていくのではないかと考えている。
- ・今後は台風や豪雨により土砂災害が発生することも想定し、防災マップの見直しや防災訓練の内容などの充実を図りながら、緊急時避難誘導體制を強化していくことが必要である。
- ・高齢化が進んでおり、病院や買い物などの外出時の移手段の具体化を、市にも相談しながら検討していく必要がある。
- ・校区まちづくり協議会の認知度向上につなげるためにも紙媒体発信に加え、SNS での情報発信も取り入れ、地域に拡散できるようにしていく必要がある。

### 13. 南山本小学校区まちづくり協議会

#### 【これまでの活動を振り返って】

- ・平成 21 年に青色防犯パトロールを開始し、小学校周辺では、1 年、2 年生の下校時に見守り活動を実施している（平成 22 年からおはよう声かけ運動も実施）。平成 22 年から南山本地区地域安全センターを小学校内に立ち上げ、自転車でのパトロールを実施している。
- ・子どもを対象とした活動（わくわくプラザ）を 24 年間実施しており、400～500 人の参加がある大きな取り組みとなっている。
- ・防災訓練の一環として、校庭キャンプに取り組んでいる。
- ・小中学校と協力したイベントを開催し、特にふれあい祭りは、高齢者の生きがいにもつながっている。
- ・ふれあい喫茶は、手作りコーナー作るなど工夫することで、40 名くらいの参加があり、高齢者の居場所づくりになっている。
- ・商店街の活性化のために手作り物の販売など、ようさん市を商店街と共催で実施している。

#### 【これからの活動について】

- ・18 台（平成 30 年 11 月時点）の防犯カメラを設置しており、子どもが集まるすべての公園に設置し、犯罪防止の観点から役立っており、今後も続けたいと考えているが、点検料などの経費の負担が課題となっている。
- ・ふれあいまつりは子どもから大人までふれあえる取り組みであり、続けていきたい。

### 14. 高安西小学校区まちづくり協議会

#### 【これまでの活動を振り返って】

- ・自転車パトロールは、学校 PTA の協力を得て、2 日に一度、公園などを重点的に回っている。青色防犯パトロールは、日曜日を除いて毎日実施し、歳末の夜警は 4 台で実施している。世話好きな人に声かけをして参加を促してきた。
- ・学校との良好な関係があるので、学校の協力を得やすい環境を作ってきた。
- ・災害時の要配慮者に対する取り組みとして、民生委員児童委員と自治振興委員会会長と校区まちづくり協議会の役員が同意者を訪問し、顔の見える関係ができている。
- ・校区まちづくり協議会と地域内の施設は、地域内施設連絡会などでつながりを持つことができている。
- ・AED の機能を発揮するためには、24 時間空いている所に設置することが望ましいと考え、地域の人とのつながりもあって、コンビニエンスストアに設置している。

#### 【これからの活動について】

- ・「できる人が、できることを、できるときに」を基本とし、そのためには多くの方の参加が必要で、平日の活動が無理なら休日だけということも可という考え方で取り組みを進めていきたい。
- ・行事毎に反省会を行い、少しずつでも改善が図られるようにしていく。

## 15. 志紀小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・健康まつりなど高齢者が外に出向くようなしかけづくりを出張所と連携して行っている。
- ・青色防犯パトロールは、年間 8,500km になり、現役世代も含め、複数名乗車することで、仲間作りの場にもなっている。
- ・防犯カメラは、志紀地区内の 4 連合町会の持ち回りで、各連合町会と連携して設置した。地域と警察が情報共有しながら、適切な場所に設置している。
- ・志紀コミュニティセンターで高齢者と子どもと一緒にニュースポーツを行ったり、高齢クラブ連合会が小学校で昔遊びを教えたりするなど、地域内の連携により子どもたちが健やかに育つまちになっている。
- ・地域住民の居場所づくりとして、コーヒーや軽食を提供するサロンや将棋・囲碁で楽しいひとときなどが、憩いの場として根付いてきている。
- ・一人でも多くの地域住民に参加してもらえよう、避難所参集訓練を市民スポーツ祭の 2 部として実施するなど、実施手法を工夫している。

### 【これからの活動について】

- ・イベントにより参加する人数に差があるため、今後はもっと運営者や、一般参加者を増やせるように工夫し活性化していきたい。
- ・この 2、3 年で志紀地区は活性化しているように見えるが、活動を継続していくには運営側の達成感を作ることが必要と考えている。
- ・防災の取り組みとして、避難所は自主運営しないといけないという観点から、地区で避難所マニュアルを作成していきたい。

## 16. 西郡まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・西郡ではあいらぶ自動車など他の地域では実施していない取り組みを行っている。移動が困難な人の課題などは他の地域でも同様であり、活かせると思う。
- ・校区まちづくり協議会が立ち上がる前から地域では、まちづくりについて考える組織があり、取り組みを進めてきた。

### 【これからの活動について】

- ・交付金を人口割だけでなく、活動がんばる、あるいは課題が多くある地域に対して金額を多く出す制度（例えば課題割や活動割）になれば、いろいろな取り組みを実施することができると思う。

## 17. 北山本小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・防災意識を高めることを目的に、小学校の土曜スクールで高学年を対象に避難訓練を行い、参加者に参加証明書を発行しており、これまで200枚ほど交付してきた。
- ・青色防犯パトロールについては、隣接する校区まちづくり協議会と互いの校区内をまわるなどで、効率的に行っている。
- ・出張所や大学と連携して地域の子どもの意見を聞くことも夢つくり隊において、地域の取り組みを検討している。
- ・やったことがないことをする、様々な人を巻き込む、連携するという考えで取り組みを進めている。
- ・ノルディックウォーク講習会は、高齢者の介護予防を目的に始め、定員になるくらい好評。自主的に地域でノルディックウォークをしている人に声をかけ、リーダーをお願いしている。
- ・ふれあい喫茶は、30代～40代が担っており、女性・男性のグループができたり、大学生も手伝いに来てくれたりする活動となっている。

### 【これからの活動について】

- ・避難訓練を子どもたちと一緒にどう取り組めるかを検討していきたい。
- ・子ども夢つくり隊の活動の中で、子どもたちの自主性を育てたい。
- ・蛍の養殖の池づくりや子どもたちの桜の植樹、地域を流れている玉串川の活用など、実施したいことがある。

## 18. 山本小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・防犯カメラについては、公園など公共施設から設置してきた。設置の目的は犯人逮捕ではなく抑止力と考え、カメラ設置を知らせる看板を設置している。
- ・校区まちづくり協議会の発足を機に、構成団体の若い方たちの力で、途絶えていた盆踊り大会を復活することができた。
- ・目立つものをつくろうというねらいから、山本小学校区まちづくり協議会のキャラクター「まげっば」を作り（名称は小学生の投票により決定）、市民スポーツ祭などで校区まちづくり協議会の認知度の向上に努めている。
- ・若い世代はやらされ感ではなく、一緒に楽しみながら取り組んでいる。参加する人の状況に応じた関わり方を可能とするなど、参加しやすい環境づくりを行っている。

### 【これからの活動について】

- ・「まげっば」が校区まちづくり協議会のものと知らない人が多く、校区まちづくり協議会自体知らない人もいるため、認知度をあげていきたい。
- ・新しい人とつながっていくノウハウを提供してもらえると活動が広がるためありがたい。

## 19. 上之島小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・市民スポーツ祭など世代間交流を行っている。ふれあい給食は、高齢者と子どもの居場所づくりも兼ねた取り組みとしている。
- ・子どもの事件・事故防止を目的に防犯カメラを設置（年2～3台ずつ）し、町会でパトロールを行っている。
- ・子どもの見守りのために地域安全サポート隊を発足し、登下校の見守りなどを行ってきたが、対象を地域全体として、自転車パトロール隊、夜間パトロール隊、ウォーキングパトロール隊で構成する地域見守り隊として活動している。
- ・青色防犯パトロールは、地域内にある産業クラブの協力により実施している。
- ・小学校6年生を対象にした交流事業や地域の企業と連携した福祉相談会を山本小学校区まちづくり協議会と共同で実施している。
- ・サッカー教室を通じ、子どもたちが考える力を身につけられるよう自主性を尊重した取り組みを心掛けている。
- ・防災関連では、子どもや高齢者向けのセミナーの開催や、上之島地域ささえあい会議を開催している。

### 【これからの活動について】

- ・青色防犯パトロールについては、企業に協力を求め活動をより広げていきたい。
- ・子ども110番の旗をつけている家を増やしていきたい。最終的には子ども110番推進隊をつくって子ども見守りに力を入れていきたい。
- ・地元の企業との連携も深め、様々な活動を広げていきたい。
- ・地域全体の自主防災組織の結成や、避難所開設マニュアルを独自に作成していきたい。

## 20. 高美小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・子どもの安心、安全確保の視点で防犯カメラの設置を進めている。当初は公園から始めたが、一定充足してきたので、事故の多い交差点を中心に設置している。
- ・昔あそびは、地区福祉委員会の高齢者福祉部会で20年近く実施しており、高齢者と小学生の顔の見える関係づくりができ、防犯にもつながると考えている。
- ・ふれあい喫茶について、町会の集会所での開催やニュースポーツコーナーを設置するなど男性も参加しやすいよう工夫しており、男性の参加も増加している。

### 【これからの活動について】

- ・高美フェスタは、今年度猛暑のため中止したことから、今後は実施時期を検討していきたい。この行事は当初から想定していた以上に人気があったので、これからも工夫を凝らして皆さんに楽しんでいただき、世代間交流を進めていきたい。
- ・ふれあい喫茶は、小学校の集会室がメインだが、高齢者の皆さんが気軽に参加できるように、各町会の集会所で喫茶を開設できるように進めていきたい。
- ・高齢者クラブとして、活動に参加する担い手は後期高齢者の方が多いので、これからはその前の世代の方も参加できるようにしていきたい。
- ・避難所運営ゲーム(HUG)は、避難所運営の担い手になりうる町会長を中心に体験してもらえるよう取り組んできたが、毎年会長が交代する町会もあり、毎年実施していきたい。



## 21. 高美南小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・ 地区には多くの外国人市民が住んでおり、多様な文化交流のきっかけ作りとして、八尾国際交流野遊祭を毎年実施している。
- ・ 地域を豊かにする目的でふれあい祭を実施している。

### 【これからの活動について】

- ・ ひとり親家庭の支援として子どもだけではなく、家庭への支援ができないかと考えている。
- ・ コミュニティ推進スタッフとともに地域活動を提案していくような制度があれば、地域特有の取り組みを実施していくことができると考えている。
- ・ ボランティアの士気が下がらないようなしかけが必要と考えている。
- ・ 他の地域でも活用していけるよう、様々な歴史を地域の資産として、うまく活かしたりリーディングケースを生み出していきたい。

## 22. 曙川小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・ 広報誌を年2回、刊行している。地域の子どもの行事を地域の人にもわかりやすく伝えることができるよう地域の小中学生に直接原稿を書いてもらうキッズレターなど、記事の工夫をしている。
- ・ クリスマスコンサートを毎年開催している。高齢者がメインターゲットだが、PTAにも協力してもらい、小学生でも楽しめるプログラムを作るなど、世代間交流となっている。
- ・ 備蓄物資として、水やアルファ化米の他、工具類の設置を進めている。
- ・ 八尾木民芸づくりもんまつりについて、出張所の協力を仰ぎ、担い手育成の教室を連続して開催している。

### 【これからの活動について】

- ・ こども教室でカローリングも行っており、人数が集まれば、地域の大会にしていきたい。
- ・ AEDの設置については、集会所では24時間の利用が出来ないことから、校区内にコンビニエンスストアがあるので、設置場所にしていきたい。
- ・ 八尾木民芸づくりもんまつりについて、なんとか現状の規模を維持していきたい。



### 23. 刑部小学校校区まちづくり協議会

#### 【これまでの活動を振り返って】

- ・防犯カメラの設置はプライバシーの面で設置を拒否する人が多く、公共の場所での設置が多かったが、防犯面の抑止力として認知され、設置を許容する動きになってきた。
- ・青色防犯パトロールについて、継続して実施しているが、高齢化により担い手が減っている。
- ・餅つき大会では、子ども用の小さな杵も用意し、子どもが楽しんで参加できる工夫をしている。また子どもへの餅つき指導を通じて高齢者と子どもとの世代間交流ができています。

#### 【これからの活動について】

- ・様々な取り組みの参加者は高齢者が多いので、もっと若い人が参加してくれるような取り組みを工夫していきたい。
- ・校区まちづくり協議会などが行う行事は無理に集客するより、他の行事と併せて実施するなどの工夫していきたい。
- ・クリーンキャンペーンについて、地区福祉委員会と協力して校区まちづくり協議会も参加している。地域の公園の清掃については地域住民として参加しているが、校区まちづくり協議会として、本格的に取り組めていないので、課題と考えている。

### 24. 曙川東小学校校区まちづくり協議会

#### 【これまでの活動を振り返って】

- ・町会離れが進んでおり、現在加入している方に班長や町会長はそんなに難しい役ではなく、初めての人でもできるという説明など、啓発を行っている。
- ・小学校区の防災訓練では町会単位で訓練を実施しており、避難所の認知度向上につながるのと同時に、ふれあいの場となっている。
- ・ふれあいまつりは、町会に入っていないなくてもみんなで楽しめ、コミュニケーションのきっかけになっている。校区まちづくり協議会では各団体と連携しながら地域を住み良い場所にしていく取り組みをしている。

#### 【これからの活動について】

- ・町会加入率が低下しており、町会に入っていないければ災害時などに声掛けもできない場合が出てくるといった課題もあるため、町会加入をアピールしていきたい。
- ・地域で子どもを健全に育てようという有志の会を作りたい。
- ・区画整理事業でできるショッピングセンターに既存町会が隣接することになるが、防犯の面で危惧している反面、活かす方法がないかと考えている。
- ・高齢者の一人世帯の増加が進む中、町会単位で把握できるよう取り組みたい。
- ・玉串川の景観整備のワークショップを地域としても継続して取り組んでいきたい。

## 25. 東山本小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・まちづくり協議会ができる以前からラウンドテーブルを18年間毎月実施し、その内容を自治振興委員会定例会などに配布することで地域情報を共有するなど、開かれた地域活動を行っている。
- ・子どもの見守り隊は、毎日登下校を見守っており、小学校と曜日、時間割などを調整し連携している。今では子どもたちが、見守る側の高齢者が来ないことで心配をするなど、地域のつながりができている。
- ・独居高齢者の食事会やふれあいサロンの開催時に、八尾市地域包括支援センターが毎回参加し、健康相談を行うなどの工夫をして、サポートなどを行っており、また地域と交流がない方にも地域情報の提供を行っている。
- ・防犯カメラについて、絶えず地域内で設置場所を検討して設置することで、公園などにおける街頭犯罪の抑止につながっている。

### 【これからの活動について】

- ・避難所を運営していくために、高齢者や身体障がい者など、受入体制やどうしていくかなど、地域がどの程度関わるのかを考えていきたい。
- ・若い方のラウンドテーブルへの参加が少ないことから、参加できるような取り組みが必要と考えている。
- ・ラウンドテーブルのチラシを小中学校PTAに配布するなど、認知度を少しずつ上げることから始めていきたい。

## 26. 西山本小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・サロンさくらでは高齢者の交流だけでなく、子育て中のお母さんが子どもと一緒に参加するなど、世代間交流が進んでいる。また八尾市地域包括支援センターが毎回参加し、健康相談を行うなど、地域の情報交換の場となっている。
- ・交通安全教室については、高齢者と子どもたちを対象に、「自動車教習所」と地区地域安全部会と協力し、楽しく交通ルールを学べるよう行っている。
- ・自主防災組織結成10周年を機に、「発災の瞬間」を如何に生き残るかを、NPO団体で行っている「防災演習ゲーム『生存確率』」と最新の防災知識を楽しみながら学べる「防災スクール」を、地域内各団体約80名、NPO、行政などが訓練スタッフとして連携し、新しいスタイルの防災訓練を行った。
- ・青色防犯パトロールでは毎日時間帯を変えてパトロールするだけでなく、台風接近時の避難所開設の案内やイベント開催の宣伝放送にも活用している。

### 【これからの活動について】

- ・玉串川の護岸や桜の保全や維持管理について、様々な課題を話し合える機会を設けていくなど、地域と行政が共に取り組んでいきたい。
- ・災害時要配慮者支援の取り組みについて、しくみの見直しが必要な部分もあることがわかったことから、個別訪問を行いながら顔を覚えてもらえるよう活動を続けていきたい。

## 27. 竹渕小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・防犯カメラについては、電柱への設置にかかる許可などの手続きで苦労しながらも、場所を変更するなど工夫している。
- ・土曜スクールと協賛での防災訓練の実施や、中学生によるスポーツ祭の準備の手伝いや防災訓練への参加もあり、子どもたちのつながりができている。
- ・ふれあい喫茶と介護予防教室、健康相談を同時に行うことで交流と健康づくりに寄与しており、参加者には喜んでいただいている。
- ・手づくり教室では、小学校低学年の児童を対象に、大人と子どもの対話に重きをおいて実施しており、参加者も多く安定した取り組みとなっている。
- ・カローリングの開催を心待ちにしている高齢者が増えており、参加者同士の交流促進と健康づくりができている。

### 【これからの活動について】

- ・防災訓練を小学生の時から継続することで、地域の防災意識の向上につながると考えている。
- ・青色防犯パトロールで子どもへ声掛けすると返事が返ってくるなど、実施している側も嬉しく、継続していきたいと考えている。
- ・地域活動と学校活動との関わり方を検討し、子どもたちの地域活動への参加を促進していきたい。

## 28. 亀井小学校区まちづくり協議会

### 【これまでの活動を振り返って】

- ・校区まちづくり協議会が発足前は、防災訓練は地区ごとに実施、市民スポーツ祭などは期間限定の実行委員会形式で実施していたが、小学校区全体での様々な取り組みが実施できるようになり、地域のつながりが強化できた。
- ・避難所運営マニュアル作成の取り組みについては、避難所を開設した時に何をすべきかをみんなで考えたことで、防災意識の向上につながった。
- ・青色防犯パトロールについて、小学校の児童から声をかけられるなど認知度が向上し、地域での防犯意識が向上したと感じている。
- ・集会所施設の維持管理に苦労しながらも、世代間交流を目的にふれあい喫茶や子どもへの読み聞かせなどの活動を行い、にぎわいを生み出している。

### 【これからの活動について】

- ・地域独自の活動である歴史マップづくりの枠を広げて、地域の産業の紹介などにも取り組んでいきたい。
- ・地区の大型マンションには市外からの転入者も多く、地域活動に関心がない人へも地域の活動紹介を通じて参加者を増加していきたい。
- ・担い手不足の課題解消の一つとして、有償ボランティアを活用していければと思う。

## 5. 最後に

意見交換会を通して見えてきたことは、各校区まちづくり協議会において、地域のつながりや交流を基礎として、以前から行われてきた取り組みに対して新たな視点を入れながら少しずつ内容を変えて継続したり、全く新しい取り組みを地域の方々に意見交換をしながら実施したり、地域ごとに様々な工夫をしながら事業に取り組んでおられる姿でした。また、取り組み内容においては、わがまち推進計画の目標をもとに安全安心・高齢福祉・子育て・環境など、様々な分野の取り組みが行われ、成果が上がっています。

一方で、担い手不足の問題や協議会自体の認知度の低さなど、様々な課題について、ご意見をいただきました。

今後は、少子化・高齢化が進行する社会の中で、持続可能な地域のまちづくりをともに進めていくためにはどのようにすればよいかを考え、いただいたご意見をふまえながら、第6次総合計画の策定を行っていきたいと思います。

ご出席いただいた地域の皆様におかれましては、お忙しい中、本当にありがとうございました。

平成 30 年度  
～校区まちづくり協議会 地域別計画意見交換会～  
開催レポート

八尾市 政策企画部 総合計画策定プロジェクトチーム